



被爆・終戦70年

世界平和へ
願いを込めて

第 92 号 2015・12・15

大韓
国UNESCO
大邱協
会
↑
広島ユ
協



10月8日(木)～12日(月)

2000年
いらい

厚い信頼と友情結ぶ 相互交流

「平和・友好の旅」管見

松原 博子 (副会長)

広島ユネスコ協会の11名は、10月8日～12日、4泊5日の旅程で、韓国ユネスコ大邱協会との友好親善のため、韓国大邱広域市（「グローバル知識経済都市、大邱」）のビジョンに基づいて再生進行中都市）を訪問致しました。折しも10月9日は「ハングルの日」、多数の国旗が秋色に鮮やかさを加えていました。

【訪問団メンバー】……………
 団長・亀井章 副団長・松原博子 井上哲一 井上 緑
 藤川和康 横佩智恵 政岡峰子 坂本美智子 丹羽岳宏
 渡邊優子 (韓国語通訳) 秘書長・藤井正一

行し、教育庁が首長部局と全く別の団体として存在する事です) → 寿城池散策 (岐阜県から開拓農民として大邱に移住した、水崎林太郎氏が農業用貯水池の築造に貢献した池) → 大邱協会主催の歓迎夕食会。

1日目は、教育庁を表敬訪問、寿城池を散策、歓迎宴で楽しむ

釜山港にて、大邱協会のお出迎えを受けた後、大邱教育庁の教育監様を表敬訪問 (韓国地方自治体の最大の特徴は選挙で選ばれた「教育監」が教育・学芸に関する教育行政を首長から独立して執



大邱教育庁を訪問

2日目 は、大加耶見学、陝川・被爆者会館を訪問、オペラを観劇

大加耶博物館（大加耶は冶炉の鉄と肥えている土地を背景に成長した地域）→大加耶歴史テーマ公園→陝川の原爆被爆者会館訪問（敷地内の慰霊閣にて、黙祷を捧げ、入居の皆様と少し話が出来ました。金一封寄付）→高天原故地→緑茶研



大加耶博物館など訪れ歴史学ぶ

究所（民族衣装を着て、韓国式緑茶を頂く）→大邱オペラハウスにて「アイダ」観劇（世界で活躍されているテノール歌手、李・ビョンサム氏がラダメス役で出演。彼は広島市と大邱広域市の姉妹都市提携10周年記念行事オペラ「蝶々夫人」に、



陝川・原爆被爆者会館を慰問

ピンカートン役で招待出演）→観劇後、李・ビョンサム氏による返礼の席が私達に設けられました。



韓国服を試着。お茶もいただく

3日目 は、安東・屏山書院、仮面劇、伝統竹弓体験、ホームビジット

安東の屏山書院（韓国最高の山紫水明書院建築）→河回村（ユネスコ世界遺産、農村における両班の伝統的な生活様式を保存している村）→「河回別神グツ仮面劇」観劇（日本では、演題や演場は異なるけれど、聖徳太子の時代に最盛期を迎えた伎楽と根幹は同じです）→伝統竹弓体験→広島ユ協会主催返礼夕食会→朴・ジョンソク理事様宅訪問。



屏山書院を見学



伝統の竹弓体験（左側が筆者）



ホームビジット（朴・ジョンソク理事宅）

4日目は、

ホーム
ビジット、西門市場
温かなもてなしに大感謝

ソ・ドンロク様の建築設計事務所訪問 → 西門市場見学（沿線住宅に配慮した、自動スモーク窓付きの大邱スカイトレインに乗車）。

旅程中、2カ所の会員様宅訪問では、先ず手作りスイーツとそのセッティングに、一斉感嘆の声を挙げ、そしてご家族の温かい言葉に、私は知



ホームビジット
(ソ・ドンロク理事宅)

己宅訪問の想いでした。ご厚情の一部を紹介しますと、朝・昼・夕食計8回のメインメニューは1つとして同じものは無く、更に箸休めに会員奥様の手作りを加えて下さいまして、ただただ美味しい！完食でした。又、天候に恵まれたためか、途中で喉の渇きを覚えると、すーと、飲料水とアイスクリーム。この様な至福の時を用意して頂き、大邱協会の皆様に感謝でございます。

この度もユネスコ大邱協会の会員及び家族皆様方に、言葉では言い尽くせない程の気配り「おもてなし」を頂き、韓国の習慣・文化に触れた時に知り得る感動を、幾度も覚えながら「私達の訪問が友好親善の一翼になります様に」と願いつつ、船上の人となりました。

ぺあせろべ

「子どもの遊び」中心に参加

国際交流フェスティバル「ぺあせろべ2015」が、10月18日(日)に1年ぶりに復活して、中央公園芝生広場で行われました。開催は30回目。広ユ協はシャボン玉などの「子どもの遊び」を中心に参加しました。

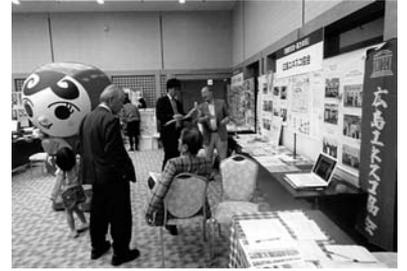


国際協力の日

ユネスコ憲章制定70年

11月16日は、70年前の1945年、国連でユネスコ憲章が採択された日。広島ユネスコ協会は、11月18日、国際会議場で開かれた「国際交流・協力の日2015」に、その意義を込め、活動を展示しました。

(国際部会長 藤井孝行)



第164回のサロンは、7月11日(土)、ユニタール広島事務所長の隈元美穂子(くまもと・みほこ)さんが、「国際連合で働く」～可能性と課題～をテーマに話されました。



第165回のサロンは、9月12日(土)、



「ユネスコサロン」

「まんがで語りつぐ 広島の復興」出版の裏話 ― と題して、中国放送常務の仙田信吾氏が、まんが本発刊の意義と、市民の力について講演されました。

第166回のサロンは、12月4日(金)、広島平和記念資料館東館 地階「メモリアルホール」で、駐広島大韓民国総領事 徐張恩氏が、「韓日関係：私たちがすべきこと、私たちができること」と題して講演されました。



